

様式1 社会資本総合整備計画（水の安全・安心基盤整備）

計画の名称	相模湾沿岸における高潮・侵食対策の推進																					
計画の期間	平成22年度～平成26年度（5年間）					交付対象	神奈川県															
計画の目標	高潮（越波、浸水）等への対策、砂浜の侵食（護岸崩壊、越波）対策として、海岸保全施設の整備や養浜を実施し、人命・財産を防護する。																					
計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> ・浸水想定区域面積を41.5ha（防護区域内人口3,556人）（H21末）から7.4ha（554人）（H26末）へ減少させる。 																					
定量的指標の定義及び算定式											備考											
	<table border="1"> <tr> <th rowspan="2">定量的指標の現況値及び目標値</th> <th>当初現況値</th> <th>中間目標値</th> <th>最終目標値</th> </tr> <tr> <th>(H22当初)</th> <th>(H24末)</th> <th>(H26末)</th> </tr> <tr> <td>・防護区域面積／人口</td> <td>41.5ha/3,556人</td> <td>—</td> <td>7.4ha/554人</td> </tr> </table>										定量的指標の現況値及び目標値	当初現況値	中間目標値	最終目標値	(H22当初)	(H24末)	(H26末)	・防護区域面積／人口	41.5ha/3,556人	—	7.4ha/554人	
定量的指標の現況値及び目標値	当初現況値	中間目標値	最終目標値																			
	(H22当初)	(H24末)	(H26末)																			
・防護区域面積／人口	41.5ha/3,556人	—	7.4ha/554人																			
全体事業費	合計(A+B+C)	2,957百万円	A	2,812百万円	B		C	145百万円	効果促進事業費の割合 C/(A+B+C)	4.9%												
交付対象事業																						
A 海岸事業																						
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費（百万円）	備考					
											H22	H23	H24	H25	H26							
A-1	海岸	一般	神奈川県	直接	-	高潮	-	湯河原海岸高潮対策事業	人工リーフ L=94m	湯河原町						440						
A-2	海岸	一般	神奈川県	直接	-	侵食	-	茅ヶ崎海岸侵食対策事業	養浜 V=150,000m ³ , 突堤 N=1基	茅ヶ崎市						732						
A-3	海岸	一般	神奈川県	直接	-	津波高潮	-	津波・高潮危機管理対策緊急事業	事業計画書による	事業計画書による					(242) 292	H23-H24地域自主					
A-4	海岸	一般	神奈川県	直接	-	侵食	-	二宮海岸侵食対策事業	養浜 V=80,000m ³ , 突堤 N=2基	二宮町						400						
A-5	海岸	一般	神奈川県	直接	-	侵食	-	横須賀海岸侵食対策事業	養浜 V=30,000m ³ , 護岸 L=190m	横須賀市					340	H23-H24地域自主					
A-6	海岸	一般	神奈川県	直接	-	高潮	-	小田原海岸高潮対策事業	護岸改良工 L=460m	小田原市						420						
A-7	海岸	一般	神奈川県	直接	-	高潮	-	葉山海岸高潮対策事業	護岸 L=210m	葉山町						188						
(小計)																(2,762) 2,812						
											小計（海岸事業）					(2,762) 2,812						
											合計					(2,762) 2,812						
B 関連社会資本整備事業																						
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名□	事業実施期間（年度）					全体事業費（百万円）	備考						
										H22	H23	H24	H25	H26								
											合計											
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考										

C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考
										H22	H23	H24	H25	H26		
C-1	海岸	一般	神奈川県	直接	-	計画・調査	モニタリング調査	事業効果に関するモニタリング調査	相模湾沿岸						137	
C-2	海岸	一般	藤沢市	直接	-	計画・調査	津波ハザードマップ	津波ハザードマップ作成	藤沢市						8	
合計														145		
番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考
C-1	事業効果に関するモニタリング調査を実施することにより、より効率的で効果的な高潮・侵食対策を図る。															
C-2	事業効果に関する津波ハザードマップを作成することにより、より効率的で効果的な津波高潮危機管理対策を図る。															

その他関連する事業																
事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容(延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考		
								H22	H23	H24	H25	H26				
(小計)																

A'		B'		C'		$(C+C') / ((A+A') + (B+B') + (C+C'))$	4.9%
----	--	----	--	----	--	---------------------------------------	------

(別記様式第2号)

津波・高潮危機管理対策緊急事業 事業計画総括表

都道府県名	神奈川県	海岸管理者名	神奈川県知事		計画期間	平成22年度～平成26年度			(金額単位:千円)
海岸名	施設名	対策内容	総事業費 (千円)		整備予定期間	平成24年度 迄実績額	平成25年度 要求額	平成26年度 残	備考
			ハード	ソフト					
ユカヅラカイク 湯河原海岸	情報提供施設	津波情報盤設置1基 津波監視カメラ1基 津波情報看板改良2基	42,500		平成23年度～ 平成25年度	42,500	0	0	
オタヅラカイク 小田原海岸	情報提供施設	津波情報看板改良7基	3,500		平成24年度	3,500	0	0	
ニミヤカイク 二宮海岸	情報提供施設	津波情報看板改良1基	500		平成24年度	500	0	0	
オオノカイク 大磯海岸	情報提供施設	津波情報盤設置1基(県単施工) 津波監視カメラ1基 津波情報看板改良2基	8,500		平成25年度～ 平成26年度	8,500	0	0	
ヒラツカイク 平塚海岸	情報提供施設	津波情報盤設置1基 津波監視カメラ1基 津波情報看板改良4基	39,500		平成23年度～ 平成24年度	39,500	0	0	
チカサキカイク 茅ヶ崎海岸	情報提供施設	津波情報看板改良10基	4,000		平成24年度	4,000	0	0	
フジサカイク 藤沢海岸	情報提供施設	津波情報看板改良6基	2,500		平成24年度～ 平成26年度	2,500	0	0	
カマクラカイク 鎌倉海岸	情報提供施設	津波情報盤設置2基 津波監視カメラ1基 津波情報看板改良8基	104,300		平成22年度～ 平成25年度	54,300	50,000	0	
スシカイク 逗子海岸	情報提供施設	津波情報盤設置1基 津波監視カメラ1基 津波情報看板改良5基	40,000		平成23年度～ 平成24年度	40,000	0	0	
ハヤマカイク 葉山海岸	情報提供施設	津波情報看板改良7基 局所的護岸整備検討1箇所	3,000		平成24年度～ 平成26年度	3,000	0	0	
ヨコスカイク 横須賀海岸	情報提供施設	津波情報看板改良4基	2,000		平成24年度	2,000	0	0	
ミウラカイク 三浦海岸	情報提供施設	津波情報盤設置1基 津波監視カメラ1基 津波情報看板改良10基	41,500		平成25年度～ 平成26年度	41,500	0	0	
合計	情報提供施設	津波情報盤設置6基(内1基県単施工) 津波監視カメラ6基 津波情報看板改良66基 護岸改良1箇所	291,800			241,800	50,000	0	4/4

社会資本整備総合交付金チェックシート

(海岸事業タイプ)

計画の名称: 相模湾沿岸における高潮・侵食対策の推進 都道府県名: 神奈川県

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①上位計画等との整合性 (計画の目標が海岸保全基本計画や地域防災計画等の上位計画と整合している。)	○
②地域の課題への対応	
○計画の目標が過去の災害や切迫する災害に伴う被害の防止・軽減、環境整備といった地域の課題に適切に対応するものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性	
①整備計画の目標と定量的指標の整合性	○
②定量的指標の明瞭性	○
③目標と事業内容の整合性等	
○事業内容は、計画の目標を達成する有効な手段となっている。 (その内容をチェック) ア) 老朽化対策、イ) 耐震対策、ウ) 高潮対策(津波)、エ) 高潮対策(高潮等) オ) 侵食対策、カ) 海岸環境整備、キ) 津波・高潮危機管理対策	○
④事業の効果	
1) 事業規模、施設諸元が適切であり事業実施により十分な効果が発揮される。	○
2) 隣接する海岸と整合した整備が行われる予定。	○
III. 計画の実現可能性	
②円滑な事業執行の環境	
1) 住民等の合意形成が整っている。	○
2) 事業計画のスケジュールは妥当なものとなっている。	○
①地元の機運	
1) 海岸事業の実施に向けた機運が高い。	○
2) ハード整備とあわせてハザードマップの作成、防災訓練などソフト施策を実施	○